



徳島県立中央病院 患者支援センター
770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3
http://www.tph.gr.jp/

電話 088(631)7151
FAX 0120(631)715
mail: chiiki@tph.gr.jp

『カテーテル関連尿路感染を予防しよう！』 地域医療連携事業講演会報告

平成30年9月7日(木) 当院にて、地域連携事業講演会(院内感染対研修会)を開催しました。聖路加国際病院Q1センター感染管理室 坂本史衣先生に「カテーテル関連尿路感染症を予防しよう!」についてご講演いただきました。内容は以下の通り。

カテーテル関連尿路感染症(CAUTI:Cather-Associated Urinary Tract Infection)は、全医療関連感染の10~20%を占めており、そのうちの80%がカテーテルに関連するものと報告されている。また、カテーテルとチューブの接続部を開放した際や排液口の汚染によりバッグ内に微生物が侵入したり、カテーテル挿入時に医療従事者の手指やカテーテルに付着した微生物が膀胱内に入ることが感染の原因とされている。

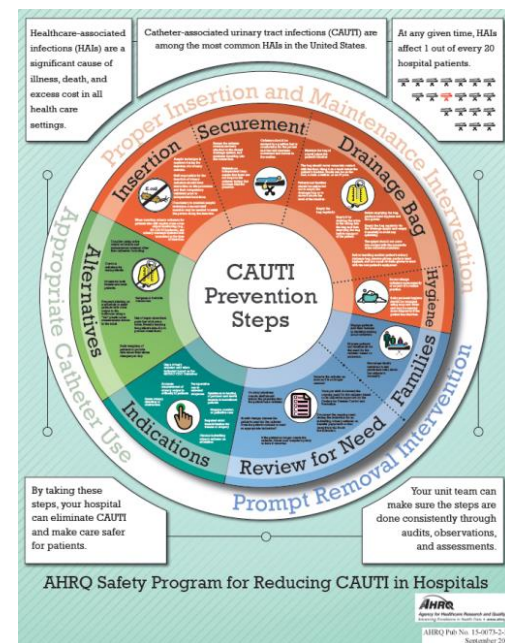
CAUTIに対する対策として米国医療研究・品質庁がだしているCAUTI Prevention Steps(右図)に沿い留置カテーテルの使用は必要最小限とし早期抜去することが求められる。

患者にとってカテーテルの多くは不快であり、不必要であり、忘れられている。CAUTI Prevention Stepsの中では、医療者による必要性の評価が明記されており、留置したまま忘れられることがないよう、医師に対する通知や、適応基準を定め、抜去後、残尿測定器を用いた排尿確認で再挿入を阻止するといった対策が求められる。

聖路加国際病院では、留置カテーテルの適応基準を確認するためのスクリーニングシート(電子カルテのテンプレート)用い、インチャージャーが中心となって評価し、早期抜去フローを作成し、抜去後の対応を標準化している。

これらの取り組みを病院全体で実行し、日常業務に統合していくためのプロセスとして、まず人員体制や費用対効果に加え組織文化などを十分に事前評価する必要がある。そこから中心メンバーと計画を立て、モデル病棟で試行を得て運用を拡大していく方策が有効である。取り組みで得られた効果は、定期的にモニタリング・評価で数値化(可視化)し、フィードバックを繰り返すことで、現場も当事者意識を持つようになり、ケアの一部として習慣化され、維持されていく。

また、そのキーマンとして、『チャンピオン』があげられる。チャンピオンは、部署内にいるスタッフの中でも、当該取り組みについて強いモチベーションをもっているもので、部署内に一人は存在し、任命されるものでなく、自然発生的に現れる。部署内の責任者はこのチャンピオンが活動しやすくできるよう支援することが重要とされている。



以上

ご講演の最後に、CAUTI対策はICTだけが考え対策を講じるものではなく、現場スタッフと共に考えていく過程が大切であると言われていたのが印象的でした。

坂本先生、有意義なご講演ありがとうございました。



E-ナース院内研修のお知らせ



① 『疾患別褥瘡予防とスキンケア』

講師：庭田 由香 氏（杏林大学医学部付属病院 皮膚・排泄ケア認定看護師）

日時：平成30年10月17日（水）17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

② 『患者さんのQOLに基づいた排尿管理の実践』

講師：藤原 治子 氏（秩父市立病院 皮膚・排泄ケア認定看護師）

日時：平成30年11月7日（水）17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

*院外の方も参加可能です。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 患者支援センター 有馬

看護局 専門分野研修会のお知らせ

① 『認知症とその症状と対応』

担当：集中ケア認定看護師 谷藤久美

日時：平成30年10月12日（金）17:30～18:30

場所：当院3階 講堂

② 『放射線皮膚炎のケアポイントとスキンケア』

担当：がん放射線療法看護認定看護師 原裕美子 ・ 皮膚排泄ケア認定看護師 小松美智子

日時：平成30年11月12日（月）17:30～18:30

場所：当院3階 講堂

③ 『人工呼吸器について』

担当：集中ケア認定看護師 殿谷淳子

日時：平成30年11月9日（金）17:30～18:30

場所：当院3階 講堂

④ 『子どもの虐待対応～事例検討 ペーパーパーシエントでのGW～』

担当：小児救急看護認定看護師 諏訪知穂 ・ 新生児集中ケア認定看護師 小川美和

日時：平成30年12月14日（金）17:45～18:45

場所：当院3階 講堂

*院外の方も参加可能です。事前申込みは必要ありません。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 看護局教育担当 佐藤

がん相談支援センターのご紹介

当院のがん相談支援センター（患者支援センター内）では、がんに関する悩み事や不安について、専門の相談員が相談支援を行っております。院内外問わず、地域の医療機関の皆様からのご相談もお受けしております。

お気軽にご連絡ください。

以下のようなご相談に対応しております。

- ・がんの治療に関する一般的な情報が知りたい
- ・セカンドオピニオンを受けたい
- ・緩和ケアについて知りたい
- ・アピアランスケアを受けたい・知りたい
- ・他のがん患者さんと話をしてみたい
- ・がん治療をしながら、仕事を続けていけるか不安 など

窓口：当院1階 総合案内 がん相談支援センター（患者支援センター）

TEL：088-631-7151（内線：5225）



徳島県立中央病院

TOKUSHIMA PREFECTURAL
CENTRAL HOSPITAL

《報告》

皆様のおかげをもちまして、
平成30年8月は、地域医療支援病院

紹介率 90.8% 逆紹介率 196.9% でした。

今後も地域医療連携推進に努めます。何卒よろしくお願い申し上げます。